



北九州市立黒崎中央小学校 高学年通信 文責：藤田 正博

～絆を深めて Keep Smile～

第117号 令和3年1月12日（火）

タブレットを使った学習がどんどん進化しています。

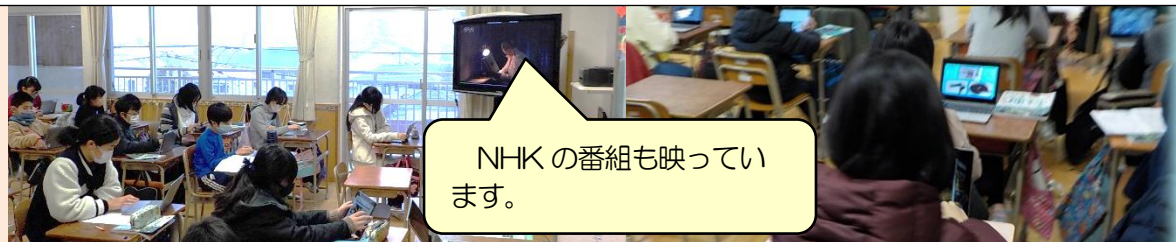


「今日はデジアナでいきますよ♪」「え？デジアナ？」

理科の学習では単元の終わりの復習をしました。まず、教科書の復習内容をタブレットで送信し、実験結果やまとめの内容を復習します。子ども達は、送られてきた配布資料に目を通し、タブレット上にメモをします。

「知らない言葉や忘れたキーワードが出てきたらメモをしてね。」

子ども達は、ノートにキーワードをメモしていきました。デジタル教材を使いながら、従来の学習方法を取り入れています。



NHK の番組も映っています。

次に、インターネットからNHKのデジタル教材を活用して復習をしました。自分のタブレットで、調べたいサイトを見つけ、すぐに復習する子ども達。

最後に、すららドリル（インターネット上のドリル教材）を使って練習問題にチャレンジしました。

「今日は、家に帰ったらテスト勉強を頑張ってください。キーワードを使って理科のノートにまとめてきてくださいね。」

こうして、1時間で効率よく学習を進めることができました。今後も、タブレットを使った学習を推進していきます。



私は何の問題をしようかな？

算数科…活用する力を身に付けよう！

比例のグラフを
使うといいね。

算数科の学習では、「活用力」が問われます。担当の村田先生は、日常生活に問題意識をもたせ、解決する力を見つけようと指導を繰り返しています。この日は、活用力を高める問題をしていました。条件整理の問題を例に挙げると、5つほどの問題があり、問題をよく読んで理解すると、紐を解くように一つずつ解決することができます。子ども達が「できた！」と言えるまで何度も寄り添いながら学習の定着を図りました。根気もいりますが、達成感いっぱいの子どもの表情が印象的でした。

国語科…優れた表現技法を見つけよう。(学びを深める学習)



一まいの紙から、
船が生まれる。飛行機が生まれる。
ひとかたまりのねん土から、
象が生まれる。つばが生まれる。
生まれる、生まれる。
わたしたちの手から次々と。

右上の詩をご覧ください。この詩から何を学びますか。担当の平崎先生は、子ども達に魔法をかけるのが上手です。今までに学習した中からテーマを選び、「反復法」「擬人法」「擬態化」「倒置法」などの表現技法のよさを見つけ出すだけでなく、筆者の思いを深く読み取れるようにアドバイスをしています。

この日は、表紙の詩を選び、成長していく自分を強調する技法を見つけ出そうと頑張る子ども達を褒め、学習意欲の向上と深い学びを導き出そうと応援していました。



水曜日は「学力テスト(5年生)」「CRTテスト(6年生)」です。復習をきちんとしておきましょう。